

下水道公社だより



しずくちゃん

- うつくしま 未来へつなぐ 下水道 -



すいてきくん

2005年1月号

目次

新年のご挨拶

『市町村技術支援事業（設計等受託業務）』のご案内

『平成16年度維持管理研修会』の開催について

センターだより『県中浄化センター』

『快適生活下水道フォーラム』を終えて

平成16年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験結果

新年のご挨拶



平成17年の新たなスタートにあたり、「下水道公社だより」をご愛読いただいている皆様に、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

さて、当公社の運営につきましては、日頃より格別の御支援と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当公社は、下水道事業の振興を図り、公共用水域の水質保全に寄与すること等を目的として昭和63年4月に設立されました。

福島県より受託しております阿武隈川上流流域下水道等の終末処理場（県北浄化センター、県中浄化センター、あだたら清流センター、大滝根水環境センター）及び県中・県南地域流域下水汚泥処理施設（汚泥溶融）の維持管理業務をはじめとして、下水道に関する各種調査研究、下水道技術者の養成、下水道知識の普及啓発、公共下水道事業などの相談業務及び設計・監理等の受託業務、下水道排水設備工事責任技術者の資格認定業務など多岐にわたる事業を展開しております。その中でも、昨年は下水道普及啓発実行連絡委員会の設立や下水道フォーラムの開催等、下水道知識の普及啓発に重点をおいて事業を執行して参りました。

本年におきましても、市町村支援の観点から、下水道に関する相談業務を充実させるとともに、下水

財団法人 福島県下水道公社
理事長 平井 良一

道普及率向上のため、普及啓発活動をより積極的に展開して参りたいと考えております。

また、公社の基本理念であります、「顧客主義」、「現場主義」、「全員が経営者」、「PDCAサイクル主義」、「日々新たな進歩」の五つの理念を踏まえ、公社役職員一丸となって、下水道終末処理関連施設の適切かつ円滑で効率的な運営と健全な経営に努めるとともに、良好な水環境の保全に努力して参ります。

厳しい経済状況のなか、下水道関連予算についても削減が進められており、より効率的な事業執行が求められております。当公社といたしましても、設立の趣旨でもあります下水道事業に関する市町村支援の観点から、より一層の経営効率化に努めながら施設の適切な維持管理や、下水汚泥の利活用推進等の各種事業執行にあたって参りたいと考えております。

今後とも、ISO14001認証事業所として、環境への負荷の低減と良好な地球環境・水環境の保全に貢献したいと考えておりますので、皆様の一層の御理解御支援を賜りますよう、よろしく御願ひ申し上げます。

新しい年が皆様にとって希望にあふれた飛躍の一年となりますようご祈念申し上げご挨拶と致します。



『市町村技術支援事業（設計等受託業務）』のご案内

平成 15 年度末現在の全国の下水道処理人口普及率は平均で 66.7%であるのに対し、福島県は平均で 39.2%と全国平均を大きく下回り、全国では 38 位にランクされる低い普及率です。

福島県の下水道普及が遅れた原因としては、他県に比べ下水道の歴史が比較的浅いこと、広い県土面積を有し集落が散在していること等によるものが原因と考えられています。しかし、我々県民の貴重な財産である自然豊かな県土を守り、快適な生活環境を築くためには、下水道の普及促進が避けて通れない重要な課題となっています。

市町村が下水道施設を整備しようとする場合、担当職員の確保が問題となります。処理場、ポンプ場、管路施設を建設するためには、土木、建築、機械、電気等の一定の専門技術を有する職員の配置が必要となりますが（下水道法第 22 条）その様な職員の確保はなかなか大変なのが実情のようです。

下水道公社では、執行体制が不十分な自治体を技術的な側面から支援するため、下記の計画段階から工事管理に至る総合的な技術支援事業を実施し、市町村の皆様をサポートいたします。

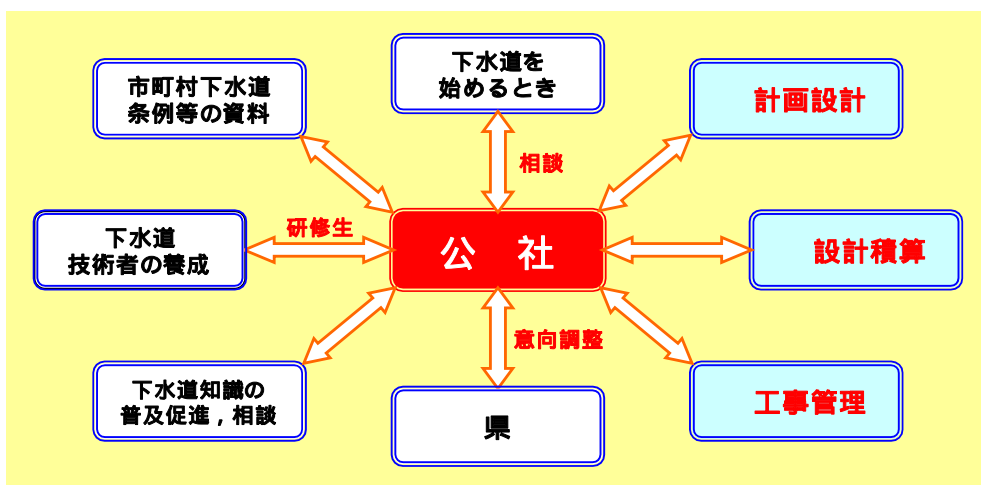
計画設計：関係機関との協議や他計画との整合を図り、円滑な計画設計を実施します。

設計積算：常に最新の積算資料や国県等の各種基準に準拠した適切な設計積算を実施します。

工事管理：各種仕様書等に基づき、工事の出来形、品質、工程管理等の他、変更設計も実施します。

この他、下水道公社では技術支援事業の一環として「**下水道事業相談室**」を開設しておりますので是非ご利用ください。

下水道事業の総合的な技術支援の一環として 下水道施設設計等を受託いたします



『平成16年度維持管理研修会』の開催について

下水道の維持管理について、専門的な知識、技術を深めることを目的として、県及び各市町村下水道担当者を対象に福島県土木部下水道グループとの共催により、下記のとおり研修会を開催致しますので、多数ご出席くださるようご案内申し上げます。

1. 日 時：平成17年2月4日(金)

13:00～16:00

2. 研修会場：須賀川市文化センター

なお、詳細については1月初旬に、各市町村下水道担当課宛に開催通知を送付する予定です。

センターだより『県中浄化センター』

あけましておめでとうございます。本年は、皆様にとってまた下水道界にとって良き年になりますよう、県中浄化センター職員一同心より祈念申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、実に自然の驚異を感じさせられる年でありました。熱帯地方のような記録的な猛暑に日本列島が覆われ、これまで記録したことがない数の台風が上陸するなど、日本各地に多くの被害をもたらしました。特に台風23号のときは、当センターでも法面の崩壊やヒマラヤ杉の倒木などの被害に見舞われました。また、10月に発生した新潟中越地震は下水道施設などの公共施設に大きな被害をもたらすなど、まさに天変地異のオンパレードといえるような1年でありました。

幸いにも当センターが管理する水処理施設、溶融施設等には特段の被害もなく、良質な放流水の確保と施設の適切な維持管理を果たすことができました。

天変地異のような「さる」年が去って、今年、平穏無事を取り戻す「とり」年になってほしいと願っておりますが、自然のことでどうなるかは分かりません。

当センターの職員はいかなる事態に見舞われようとも、プロの下水道マンとしての誇りと自覚を持ち、それぞれの力を合わせ業務に邁進して参る所存でありますので、皆様のなお一層のご支援、ご協力をお願い致します。最後に、満開のサザンカと早くも咲き始めた梅の花のワンショットを皆様へのお年玉とさせていただきます、県中浄化センターだよりといたします。



『快適生活下水道フォーラム』を終えて

去る平成 16 年 11 月 14 日(日)に福島県及び当公社の主催により、コラッセふくしまにて「くらしと下水道」～快適なくらしに欠かせない下水道と水環境について考える～をテーマに『快適生活下水道フォーラム』を開催いたしました。

主催者による挨拶の後、「ドラえもん」の声でおなじみであり、また、水の研究者としても知られる女優・声優の大山のぶ代氏による「地球にやさしい暮らし」と題した基調講演では、氏が福島市へ疎開していた当時の思い出を振り返りながら“背負い水”の話を例として、水の大切さと下水道整備の必要性について訴えていただきました。



続いてのパネルディスカッションでは、福島学院大学短期大学部客員講師の桜田葉子氏、小林清美県婦人団体連合会評議員、鈴木宏幸福島青年会議所理事長、ふくしま「地球村」代表の煙山昭子氏がパネラーとなり、大山氏とラジオ福島アナウンサーの大和田新氏のコーディネートにより、水環境の大切さや暮らしと下水道の関わりなどについて意見を交わしていただきました。



終了後のアンケートでも『水の大切さがわかった』『下水道の役割、必要性がわかりました』など多数の肯定的なご意見をいただきました。

最後になりましたが、本フォーラム開催にあたりましてご支援、ご協力をいただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成 16 年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験結果

7 月号でご案内いたしました「平成 16 年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験」につきましては、平成 16 年 11 月 28 日に『ビッグパレットふくしま』にて予定通り実施し、受験者 603 名に対して 295 名(合格率 48.9%)が合格となりました。試験結果については合否の結果を受験者へ直接送付するとともに、当公社HPへの合格者受験番号の掲載、業界紙等での合格者の公表を行いました。



財団法人 福島県下水道公社

〒960-8103 福島市舟場町 2 番 1 号 福島県庁舟場町分館 3 F

TEL 024-524-3510(代)

FAX 024-524-3513

Homepage:<http://www.fspc.or.jp>

E-mail:kikakukanri@fspc.or.jp

本誌の発行については、業務部企画管理課までお問い合わせください。